

## 会議録

会議の名称	平成30年度第1回西東京市総合計画策定審議会
開催日時	平成30年4月16日（月）午前9時30分から午前11時15分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室
出席者	池田正幸委員、大河内一紀委員、川口幸子委員、菊地原美和委員、小林正和委員、中村桂子委員、則武智委員、水谷俊博委員、安田賢憲委員、山本泰嗣委員、米森修一委員、和田清美委員（50音順） 事務局：飯島企画部長、古厩企画部企画政策課長、神保企画政策課主査、高橋企画政策課主査、浅水企画政策課主事、水谷企画政策課主事
議題	1. 第2次総合計画（後期基本計画）の施策について 2. 第2次総合計画（後期基本計画）の各論について 3. その他
会議資料の名称	(1) 第2次総合計画（後期基本計画）の施策体系（案） (2) 西東京市第2次総合計画（後期基本計画）各論における施策見直しの方向性 検討資料（粗案） (3) 第2次総合計画（後期基本計画）各論【原案】～み・笑・活～ (4) 西東京市「まちづくり若者サミット」進捗報告
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
<b>会議内容</b>	
<p><u>開会</u> ○事務局： 平成30年4月1日付け人事異動に伴い、事務局体制を紹介。</p> <p><u>議題1 第2次総合計画（後期基本計画）の施策について</u> <u>議題2 第2次総合計画（後期基本計画）の各論について</u> 事務局より資料1～3に沿って説明</p> <p>○I委員： 「安2-1 地域の危機対応力の向上（仮）」では、サイバー攻撃や情報漏えい等も騒がれているので、キーワードとして盛り込んでおいた方がよいのではないのでしょうか。 成果指標については、前回審議会での協議を踏まえて、主観的な評価に基づく指標ではなく、客観的な指標を盛り込んでいただきありがとうございます。本来目指すべき目標値については、根拠を持って妥当性を説明できるようにしておけるとよいのではないのでしょうか。</p> <p>○G委員： 「み1-1 市民主体のまちづくりの推進」と「み1-2 協働のまちづくりの推進」に関して、自治会・町内会の組織化等の取組は実施されてきていると思います。一方、西東京市においてもマンションの住民が増加しており、自治会・町内会に類する自治組織として、マンションの管理組合に対するアプローチも必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p>	

○事務局：

正確な数までは把握していませんが、市内には200を超えるマンション管理組合があると認識しています。前期基本計画に挙げている自治会・町内会に対する補助制度につきましては、マンションの管理組合も対象に含めています。防災市民組織としても、マンションの管理組合を含めて検討を進めています。現状と課題④において、自治会・町内会「など」という表現で、マンションの管理組合等も包含できるようにはしておりますが、ご意見を踏まえて工夫はさせていただきます。

○J委員：

全体としては、詳細な各関連計画とあわせて、施策が整理されておりよいと思います。

「み1-2 協働のまちづくりの推進」の成果指標に、「NPO・ボランティア活動等への参加率」とありますが、この中には防犯、子育て、見守り等の様々な活動があると思います。可能であれば、各活動における参加状況が分かるように設定した方がよいのではないのでしょうか。また「協働のまちづくり」として、どのような形で取組が実施されているのか、市民に対する周知の面でも数値が設定できるとよいのではないのでしょうか。

「み3-1 開かれた市政の推進」の成果指標に、「電子化された行政手続きの件数」や「マイナンバーカードの交付枚数」とありますが、電子化された行政手続きの割合や、市民へのマイナンバーカード交付率で示した方が分かりやすく、例えば全国平均との比較による評価といったことも考え得るのではないのでしょうか。

「笑1-1 地域福祉の推進」の成果指標に、「地域活動への参加率」とありますが、地域活動には子育てや高齢者の見守り・生きがいくくり等の活動が含まれていると思います。地域福祉に焦点を当てるのであれば、高齢者の見守り等に絞って割合で示した方がよいのではないのでしょうか。「地域福祉推進員の登録者数」も、割合で示した方が分かりやすいのではないのでしょうか。

「笑1-2 高齢者福祉の充実」も非常に重要な観点だと思います。成果指標に「75歳以上の要介護認定率」や「要介護認定者のうち在宅で過ごす人の割合」とあり、前者は減少、後者は増加するのが望ましいかと思われます。しかし、どのような施策であれば望ましい方向に導けるのか、施策と成果指標の因果関係が分かりづらく感じました。施策で意識啓発について記載するのであれば、どれだけ意識啓発ができていくかという点を測る指標を設定する等、関係性の明瞭な指標を設定いただければと思います。

「笑1-3 障害者福祉の充実」の成果指標に、「放課後等デイサービスの利用者数」とありますが、放課後デイサービスには習い事型・学童型・療育型等の類型があります。本施策には学童型のデイサービスは当たらないと思われましたので、ここでは「療育型」とするのが正確かと考えます。

「活1-1 産業の振興」に関して、西東京市のホームページを確認したところ、トップページから産業振興のページに直結しておらず、産業振興マスタープラン等に行き着くにも時間がかかりました。「西東京市ブランド」を発信するのであれば、市のホームページにも工夫が必要ではないかと思います。「めぐみちゃん」や「ハンサム・ママプロジェクト」の活動等、市としてアピールするものを明確に提示した方がよいのではないのでしょうか。また、ホームページ等による西東京市ブランドの周知等を、成果指標に盛り込むべきではないのでしょうか。

○事務局：

各施策の成果指標の設定については、いただいたご意見を踏まえつつ、今後、検討してまいります。また、個別計画との関係がある中で、総合計画の指標をどの程度細分化して設定するかについても、引き続き検討いたします。

○H委員：

「み1-1 市民主体のまちづくりの推進」と「み1-2 協働のまちづくりの推進」の成果指標に、「地域活動」という言葉がありますが、具体的に何を指しているのでしょうか。例えば、ささえあいネットワークへの登録、自治会活動への参加等、市民が何をもちって地域活動に参加したとするかは、人によって解釈が異なると思います。

「笑1-2 高齢者福祉の充実」の成果指標に、「ささえあいネットワークの協力員の数及び訪問協力員の数」とありますが、協力員と訪問協力員では何が違うのでしょうか。

○事務局：

詳細な説明には確認が必要ですが、協力員と訪問協力員での役割には差があると考えております。

○H委員：

「ささえあいネットワークの協力員の数及び訪問協力員の数」について、自身が訪問協力員として活動する中で、実際に訪問を依頼する高齢者はそれほど多くはないかという話も聞いています。今後、高齢者数は確実に増加しますが、訪問については、本当にニーズがあるのかは分からないので、指標として適切か疑問に感じました。

○事務局：

ご指摘のとおり、現時点では「地域活動」について特定の活動を指しているものではないため、分かりづらいという点があるかと思えます。個別具体の活動の成果につきましては、個別計画の中で見ている部分もありますので、総合計画でも個別の活動を対象とするのか、あるいは、複数の活動をまとめた形とするかは、改めて整理をさせていただきたいと思えます。成果指標の妥当性についても、再検討します。

○G委員：

「み3-2 健全な自治体の経営」の現状と課題⑤で、「公会計制度やファシリティマネジメント」とあります。会計制度というと企業会計等が思い浮かぶのですが、ここではどういった趣旨なのでしょう。

○事務局：

公会計制度が見直され、平成28年度の決算から全自治体統一的な基準にて作成することに改められました。分析スキームは今後確立していく方向性ですが、企業会計ベースとなるので、施設の有効活用を見据え、コスト管理等を全自治体統一的な基準にて運用していくという意味になります。

○E委員：

「笑1-2 高齢者福祉の充実」の現状と課題①の人口推計にありますように、今後は高齢者が増加していく見込みとなっています。成果指標に「75歳以上の要介護認定率」とありますが、要介護認定率は80歳から90歳代になれば必然的に増加するものであり、80歳から90歳代の人口は確実に増加していくと見込まれます。そこで、「75～84歳での要介護認定率」というように、対象年齢限定して設定した方が、人口構成の変化に左右されづらいのではないのでしょうか。

「笑1-2 高齢者福祉の充実」に関して、前期基本計画に挙げられている成果指標「地域包括支援センター相談・対応件数」は、事業としても数値がとりやすいため、後期基本計画でも残しておいてよいのではないのでしょうか。

「笑1-2 高齢者福祉の充実」の成果指標「75歳以上の要介護認定率」と、「笑1-4 社会保障制度の運営」の成果指標「自立している高齢者の割合」は、対となる指標かと思いますが、重複等のないよう、最終的には整合をとっていただきますようお願いいたします。

○C委員：

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、障害者に対する関心を高めていく必要があると思います。小中学生等は車いすに触れる機会もあまりないと思いますので、教育の一環として取り入れていくべきではないのでしょうか。また商店街の利用においても、障害者がどういったところに問題を感じているのか把握し、バリアフリーを進めていく必要があると思います。

外国人観光客の来訪にあたり、クレジットカード決済への対応も考慮した方がよいと考えます。

○F委員：

「活2-1 まちの魅力の創造」の施策目標や現状と課題に、「シティプロモーション」という言葉が使用されていますが、市民にとって聞き慣れない言葉かもしれませんので、注釈が必要であると思います。また、シティプロモーションにつながる成果指標が、複数あるとよいのではないのでしょうか。

成果指標に「西東京市公式Facebookへの『いいね』数」とありますが、学生等と関わる中で、20代前半の人はFacebookをあまり使用していないという現状がありますので、この指標については検討が必要かもしれません。

関連して、「み3-1 開かれた市政の推進」の成果指標に、「市ホームページの閲覧数」とありますが、ホームページの他に、SNS等の活用による情報発信の指標があった方が、時代に即しているのではないのでしょうか。

元改正への対応についてはご検討いただいた方がよいと思います。

○事務局：

いただいたご意見を踏まえ、検討いたします。

○I委員：

市民意識調査の満足度・重要度について、社会経済情勢に左右されるのではないかと以前の会議において発言した趣旨は、満足度・重要度を指標とすることが一概によく

ないということではなく、調査対象について定義づけを行う等、客観的な指標となるよう工夫をしていただければという趣旨になります。

○H委員：

「笑2-1 健康づくりの推進」に関して、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を見据えて、都内で禁煙ルーム設置等の取組が進められていると思いますが、本市としては受動喫煙対策についてどのような考えをお持ちなのでしょう。国が検討を進めていることから、飲食店での受動喫煙対策については、言及してもよいのではないのでしょうか。

○事務局：

資料2のNo. 20「笑2-1 健康づくりの推進」の関連計画等に、「第2次西東京市健康づくり推進プラン後期計画」があり、その中に受動喫煙防止対策を位置付けております。

○D委員：

「活1-2 新産業の育成」の成果指標に、「創業支援事業により起業した件数」と「チャレンジショップ事業を利用して起業した件数（累計）」とありますが、どのような意図があるのでしょうか。また、ビジネスの持続性を見るという意味において、中長期での産業の根付きや成長をはかることのできる指標を設定した方がよいのではないのでしょうか。

○J委員：

「活1-2 新産業の育成」というのであれば、「ハンサム・ママプロジェクト」の指標も追加したほうがよいのではないのでしょうか。

○事務局：

「産業振興マスタープラン」とも調整しつつ、いただいたご意見を踏まえ検討いたします。

○J委員：

現行の「第2次健康づくり推進プラン」の中では、認知症について重点的に触れられていますが、「笑2-1 健康づくりの推進」の成果指標では、がんが中心に挙げられています。認知症に関する指標は、要介護認定率の低下につながるものであり、すでに認知症予防の講習会等も実施されているので、盛り込んでおいたほうがよいのではないのでしょうか。

○A委員：

各施策に「コミュニティ」や「ネットワーク」、「コーディネーター」といった言葉がありますが、後期基本計画全体の中で混同がないよう、整理をしていただければと思います。社会福祉協議会ではネットワークを立ち上げ、活発に活動しております。またNPO法人のネットワークもあり、代表者と協議しながら、連携を深めていこうという話になっています。これらのネットワークは、「み1-1 市民主体のまちづくりの推進」や「笑1-1 地域福祉の推進」等、複数の施策に関連するものであり、市民としても地域福

祉や地域活動の定義が曖昧な部分がありますので、改めて整理していただくとよいかもしれません。

○和田会長：

「笑1-1 地域福祉の推進」の現状と課題②の中にあります「地域福祉の支援体制づくり」も大事ですが、福祉や暮らしに関する相談ができる総合窓口についても記述があつてよいのではないのでしょうか。

また実際の支援時には、地域福祉に係るエリア設定が重要であり、「第4期地域福祉計画」を契機に、行政としてどのようにエリア設定をするのか示してもよいと考えます。

○事務局：

エリア設定については、現在、庁内において「笑1-1 地域福祉の推進」のような地域福祉をベースに検討を進めているところです。現状と課題③に示されている「ネットワークの再構築」は、地域づくりにもつながるものと考えております。

### 議題3 その他

○和田会長：

その他の事項として、事務局から何かありますか。

○事務局：

まちづくり若者サミットにおける検討状況等について、報告させていただきます。

事務局より参考資料1に沿って説明

○K委員：

まちづくり若者サミットは、5月19日開催予定のまちづくりシンポジウムに向けて、取組アイデア案の内容を詰めていく段階です。サミットメンバーが自主的に調査を行う等、意欲的に活動しており、若者が本市のまちづくりについて考える非常に貴重な機会となっています。

○G委員：

サミットメンバーが熱心に取り組まれているとのことで、非常に楽しみにしております。学生を中心とした若者が増えれば、まちや商業の活性化につながられます。

○K委員：

サミットメンバーは、18～30歳の若者が中心で、既婚者も数名いらっしゃいます。特に学生からは商業施設やおしゃれなカフェ等についての意見が多く挙げられています。サミットでの検討結果を地域の活性化につながられればと考えております。

○和田会長：

その他に、事務局から何かありますか。

○事務局：

次回の審議会は、5月21日（月曜日）午前9時30分からを予定しています。

なお、まちづくり若者サミットが事業提案を行う「まちづくりシンポジウム」は5月19日（土曜日）午前9時30分からコール田無にて開催いたします。

○和田会長：

その他、委員の皆様から何かありますか。

○各委員：

（意見なし）

○和田会長：

それでは、これもちまして、第1回審議会を終わらせていただきます。皆様ありがとうございました。

（閉会）